

「加徳島の持続可能な開発のための国際都市構想コンペ」
The International Urban Ideas Competition for the sustainable development of
Gadeokdo, Busan in the Republic of Korea

2月24日と25日の2日間で、韓国は釜山にて、「加徳島の持続可能な開発のための国際都市構想コンペ」の審査会が開催されました。

釜山市を主体として行われたこのコンペは、加徳島の開発につき「将来の発展」、「地球規模の創造性」、そして「生態系への配慮」をコンセプトにおいて注目されるアイデアを国際的に募集するものとして行われました。

審査は2日間のうちに第1次から5次まで行われ、60点の応募アイデアから1等1点、2等1点、3等2点、審査委員奨励賞5点が選ばれました。

5人の審査委員団の構成は日本より(出江会長)1名、アメリカより1名、韓国より3名で、それぞれの国情を交えた活発な議論がなされました。

以下のホームページ「The International Urban Ideas Competition for the sustainable development of Gadeokdo, Busan in the Republic of Korea」

より結果がご覧になれます。(ポップアップ)

<http://gddcompetition.org/w3/> (英語)

International Urban Ideas Competition for the Sustainable Development of Gadeokudo, Busan in the Republic of Korea

加徳島のサステイナブルな開発のための国際都市構想コンペ 講評

「エコパークシティ」

現代は経済主義、合理主義、高層建築主義の中で都市はどんどんドライになり、子供達が自然と接するチャンスがなくなりつつある。その中で、此の計画のエコを中心とした街造り、すなわち、エコパークシティは素晴らしい。子供達が小川や池、海辺で喜々として遊ぶ姿を親が見た時、どんなに喜ぶだろうか。今の都市造りは大人のための都市造りであり、経済的都市造りで、子供のためのものではない。子供の情操教育上、また、学校での生物の学習、そして将来のそれぞれの国を担う子供達のための街造りが、今、大切なのである。

水辺に巨大なビルを造るのではなく、低層の建築や道路等は木、土、石等の素材で造ってほしい。基本的に低層の変化に富んだ街造りが、ここに訪れた人達を様々な空間で楽しませるだろう。また、水の浄化も機械に頼るのではなく、植物によって浄化されるビオトープ的なのが良い。

親と子、人間の癒しの空間として素晴らしい。

会長 出江 寛
社団法人 日本建築家協会